

(様式第3号)

政務活動報告書

会派名 (鳥取市議会 開政)

活動事項	交通施策、再生可能エネルギー等に関する視察調査
活動年月日	令和5年7月31日(月)～令和5年8月1日(火)
場所	広島県呉市、広島県福山市
活動の相手	呉市議会、福山市議会
目的・内容 ・結果等	【目的】 交通施策、再生可能エネルギー等に関する調査のため、 呉市議会、福山市議会への視察を行なった。 【内容】 呉駅周辺地域総合開発事業について 呉市省エネ家電買換促進補助金について 官民連携による福山駅周辺再生の取組について 【参加者】 加嶋辰史 【結果等】 別紙のとおり
関連する 支出伝票番号	3、4

〈 内 容 〉

1 日目、7 月 31 日

呉市視察内容①：交通ターミナル整備による呉駅周辺整備とまちづくりの取組、都市のリデザインとブランディング

目的：本市の取組と比較検討するため。市民に向けた事業内容の広報を学ぶため。

結果：担当課長の声を聞いて、困難に立ち向かう努力を確認出来た。また、プロポーザルという手法が機能して効果を発揮していることが確認出来た。予算を気にしての考え方にあらず、業界の人間関係の研究と関係性の構築をし、道と駅と港と街、これらの連携と高機能化を前進する印象を受けた。

視察内容②：省エネ家電買換促進補助金の取組

所管部：環境部 環境政策課

目的：省エネ家電買換促進補助金について

補助金交付予算額 5,000 万円に対して、募集受付から 2 日間で 1600 万円以上の申請状況であった。市民への広報の取り組みと効果の分析を、聞く。また、省エネ家電買換事務局の設置など申請者への負担軽減や、市役所内部の処理の簡素化の工夫、及び物価高騰対策や、脱炭素社会の実現に向け、産業部との協力の有無について学ぶため。

結果：近隣市の似たような事業を参考にしたことや、家電販売店との協力、庁内の産業部との連携の経緯を聞くことが出来た。

感想：呉駅から呉市役所まで、ハブコック日立エコクラブ寄贈のバスで送迎して頂いた。議会棟を訪問し、説明を受けた後、質疑に重点を置き、意見交換を行った。各議員が事前提出の質問を元に、途切れる事なく応酬が続いた。丁寧な対応をして頂いたことに深く感謝します。

2 日目、8 月 1 日

視察場所：福山市

内容：官民連携による福山駅周辺再生の取組

目的：本市の取組と比較検討するため

結果：福山駅周辺にて、現場の声を聞くことにより、リノベーションを実行した店主の恣意性を確認出来た。また、リノベーションという手法が機能していることが確認出来た。建築物の改修に留まらず、人間関係の構築に波及し、再開発計画中止後の街に、新しい風を吹きこんでいる印象を受けた。

感想:電車の大幅な遅延により滞在時間が限られた。予定を変更して臨機に、伏見町に重点を置き街を観察した。リノベーションに取り組まれた 2 店舗でお話を伺い、「勇気を出して新しいことに挑戦して良かった、」というご意見を直接お聞きしました。店舗については、私の飛び込み訪問に、応対して頂いたことに深く感謝します。

(様式第3号)

政務活動報告書

会派名 (鳥取市議会 開政)

活動事項	市街地活性化等に関する視察調査
活動年月日	令和6年3月27日(水)
場所	山口県周南市
活動の相手	周南市議会
目的・内容 ・結果等	【目的】 市街地活性化等に関する調査のため、 周南市議会への視察を行なった。 【内容】 徳山駅周辺整備事業と中心市街地活性化について 周南市議会の取り組むミニコンについて 中心市街地について 【参加者】 加嶋辰史 【結果等】 別紙のとおり
関連する 支出伝票番号	14、15

〈 内 容 〉

調査項目 徳山駅周辺整備事業と中心市街地活性化について

所見

単刀直入に説明を受け、質問項目にも全て回答して頂いた。駅を含む中心市街地の整備は、喫緊の課題であり、本市の行政に必要なことは何か、考えさせられ、政治の責任を痛感する視察研修となった。

内容

説明内容は、まず周南市は山口県第一位の工業都市であり、新幹線、JR 山陽本線、バス、フェリー等の広域公共交通結節点として徳山駅が存在することから始まった。

次に中心市街地のイメージを地図で示されて、駅周辺整備プロジェクトの前後の変化、及び目的と経緯を解説された。

そして、核となるデザイン会議から基本計画等作成されたこと、市の取り組まれた南北自由通路整備、徳山駅前広場整備、賑わい交流施設整備など過去の事業も説明された。

とりわけ、賑わい交流施設整備事業について予算額を情報提供して頂いた。

総計約 55.1 億円の内訳は、建築費が約 27.6 億円、駐車場整備に約 5.4 億円、旧駅ビル解体工事に約 5.6 億円、図書館関係費約 3.6 億円、その他に設計や用地に関わる費用など約 13 億円、ということであった。また、指定管理料として、2 施設の約 1.7 億円が単年度で計上されていることも教えて頂いた。

また、複数年契約で 22 の業務を包括的に委託し、管理運営を図る PPP 管理運営事業は、とても印象的であった。現場の声を行政施策に取り入れるため、官民連携の取り組みを毎月 2 回継続している、とのこと。賑わいを創出し続ける組織の在り様が紹介され、winwin な事業サイクルが機能していることを確認した。

最後に、来月中旬にグランドオープン予定の、TOKUYAMA DECK、を含む市街地再開発事業の概要を紹介された。総事業費は約 121.7 億円、敷地面積は 8,350 m²、延床面積は、総計 29,370 m²に及ぶ。

周南市においては、駅を中心とした住民に居心地の良い街を作るため、ひいては都市間競争に生き残りをかける、強い熱意を持つ市職員による解説を受けた。

調査項目 周南市議会の取り組むミニコンについて

所見

市議会事務局より、ミニコン開催の目的と経緯について説明を受けた。加嶋から複数質問をし、過去に実施されたミニコンにおける成果や課題についての検証状況を確認した。今後の弊市議会の広報と広聴の検討に活かしてゆきたい。

視察先 市街地 （商店街エリア、中央図書館）

調査項目 中心市街地について

所見

個人的に市街地エリアを見学した。商店街は組合間の格差が大きかった。空き店舗が増え続け来店者が少なくなり、居住者も減少しているとの店主の声を聞いた。

また、中央図書館では、駅前図書館との機能の差別化を図り、継続して市民の知識深化に取り組む決意を聞いた。